

「アピール：イレッサ薬害の真摯な検証のために」の記載事項変更について（お知らせ）

2011年9月12日

新薬学研究者技術者集団

当集団は、2011年8月1日付けで「アピール：イレッサ薬害の真摯な検証のために」（以下「アピール」）を公表しましたが、このたびその記載事項を下記のとおり変更しましたのでお知らせします。

なお、記載事項変更後の「アピール」の全文は、別添のとおりです。

記

5 ページ，下から 12 行

[変更前]

厚生労働省が、地裁の和解勧告に対して発表した「考え方」文書には、参考資料として日本肺癌学会、日本臨床腫瘍学会、日本医学会会長、国立がん研究センター理事長、日本病院薬剤師会会長、日本骨髄腫患者の会などの「和解勧告を受け入れるべきでない」とする声明が添付されている。

[変更後]

厚生労働省が、地裁の和解勧告に対して発表した「考え方」文書には、参考資料として日本肺癌学会、日本臨床腫瘍学会、日本医学会会長、国立がん研究センター理事長、日本骨髄腫患者の会などの「和解勧告を受け入れるべきでない」とする声明が添付されている。

[変更の理由]

過日、日本病院薬剤師会会長から「アピール」の上記箇所に関して、「私は、『和解勧告を受け入れるべきでない』などとは発言していないし、書いてもいないので、「アピール」から“病院薬剤師会会長”の記載を削除してほしい」との申し出を受けました。

しかし、指摘を受けた箇所（「アピール」5項の第1パラグラフ）の記述は、当集団の意見や判断を示したのではなく、厚生労働省が発表した文書の記載を、そのまま客観的事実として紹介したものに過ぎません。「アピール」のなかでは、この記述の引用元と引用文書の性格（厚生労働省発表の「イレッサ訴訟和解勧告に関する考え方」文書に添付された「参考資料」であること）も明示しております。

私たちは、上記の引用箇所が病院薬剤師会会長のご意見を正しく反映していないとすれば、その責任は、同会長のご意見を誤って（あるいは歪曲して）伝えた厚生労働省にあると考えます。しかしそのことは別にして、厚生労働省が発信した誤った情報が、私たちの「アピール」を介していっそう拡散して伝えられることは、私たちの本意ではありません。したがって、「アピール」から「日本病院薬剤師会会長」の記載を削除することにしたものです。

以上